

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

2021年8月発行

No. 183

3月 6月 9月 12月
令和3年6月定例会

議案概要

**修学旅行のバス
増便費用を負担** P.2

委員会審査

**チョイソコ事業
運行時間を拡充** P.3

一般質問

**避難所の収容
コロナ禍でも可能** P.5

一般質問

**新特別支援学校
特色ある作業学習** P.6

一般質問

**高齢者生活支援
地域・団体と連携** P.7

新型コロナ報告会

**コロナワクチン
接種状況など確認** P.7



今号の表紙
有終の議場

市役所本庁舎の建て替えのため、昭和48年から使用してきたこの議場での会議は9月定例会で最後となります。

これまで、市民の幸せと市の発展のため、数多くの議案の審議が行われた議場。感謝の意を込めて全議員で撮影しました。12月定例会は新たな議場で開かれます。

一般質問

**11人が
市政を問う** P.5~



みどり坂出張所の消防ポンプ自動車を更新
(詳細は2ページ)

議案概要

定例会を6月4日から6月28日までの25日間開催し、令和3年度一般会計補正予算をはじめとする32案件を審議しました。

予算に関する議案

令和3年度一般会計補正予算

当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算などの補正を行うもので、主なものは次のとおりです。

歳出の主なもの

▼予防接種費

国からの要請を受け、7月末までに高齢者のワクチン接種を完了するため、集団接種会場を増設するなど、必要な体制確保を行うものです。

2億7308万4千円



7月中に行われた高齢者の新型コロナワクチン接種

▼公共交通機関対策費

チャイソコかかみがはら利用者からの要望を踏まえ、運行時間を1時間拡充するなどのため、運行事業者に対する交通支援金を増額するものです。

124万8千円

▼商業振興対策費

地域の人材・資源・資金を活用した新たなビジネスを支援する国の事業に、市内企業が行う事業が採択されたことから、その企業に対し補助するものです。

2500万円

▼小学校管理費・中学校管理費・特別支援学校管理費

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内小・中・特別支援学校の修学旅行のバスを増便する費用などに対し、保護者の経済的負担の軽減を図るため、必要な額を市で負担するものです。

3021万7千円

▼小学校管理費・中学校管理費

川島大橋の通行止めにより、登下校が困難となった川島小・中学生をバスなどで送迎するものです。

1452万2千円

その他の議案

印鑑条例の一部改正

証明書自動交付機が今年9月17日をもって廃止されることに伴い、自動交付機による印鑑登録証明書の交付申請などの規定を条例から削除するものです。

工事請負契約の締結

市庁舎解体工事を総合評価一般競争入札により、協和・足立特定建設工事共同企業体と7億1500万円で契約を締結するものです。

財産の取得

消防署みどり坂出張所の水槽付消防ポンプ自動車を一般競争入札により、(株)ウスイ消防から6149万4240円で取得するものです。

子どもの医療費助成制度に関する意見書

議員から、全国で統一した子ども医療費助成制度の創設を国に求めるとともに、対象者拡大などを県に求める内容の意見書の提出がありました。

委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。
各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

令和2年度一般会計補正予算

問 新庁舎建設工事で、施工計画を見直した理由は。

答 近隣住民から要望を受け、工事車両などの通行の迂回路を再検討し、その周知に時間を要したためである。

問 令和2年度末時点の各基金の残高は。

答 年度間の財源の変動に備えて積み立てをする財政調整基金が101億5462万9千円、学校施設整備基金が38億3659万8千円、新総合体育館整備基金が5億円である。

工事請負契約の締結

(市庁舎解体工事)

問 現庁舎解体工事のスケジュールは。



新庁舎高層棟の使用開始に伴い解体を控える現庁舎

答 新庁舎高層棟の使用が開始となる令和3年9月21日以降に、現庁舎の仮囲いと作業用の足場設置を行う予定である。

その後、公用車庫などの外構工作物の撤去や現庁舎の内部撤去作業を行い、令和4年2月ごろから、現庁舎の解体工事を

最上階から下層へと、順に実施する予定である。

経済教育常任委員会

令和3年度一般会計補正予算

問 チョイソコの配車に係る交通支援金の増額には、利用者の声がどのように反映されているのか。

答 鶺沼エリアのチョイソコ利用者からの「ふれあいバスを乗り継ぎ、東海中央病院に9時台に着きたい」という要望に応えるため、現在9時から運行開始時間を1時間早めて8時からとした。

民生常任委員会

手数料条例の一部改正

問 令和2年度の証明書自動交付機による各種証明書の発行件数は。

答 住民票の写しが約2万2千件、印鑑登録証明書が約2万2800件、所得課税証明書が約2700件、納税証明書が約490件である。

印鑑条例の一部改正

問 県内で証明書自動交付機を廃止する自治体は本市のほかにあるか。

答 岐阜市、大垣市、高山市はすでに廃止している。

現在、設置しているのは、本市と美濃加茂市のみであるが、美濃加茂市も来年度中に廃止すると聞いている。

建設水道常任委員会

令和3年度一般会計補正予算

問 つつじが丘地区公園リニューアル整備事業の内容は。

答 つつじが丘東公園は、今年度、設計の発注のみを予定していたが、工事の一部も時期を早めて行う。

つつじが丘南公園は、令和4年度に予定していた設計を時期を早めて、今年度に行う。

整備にあたっては、公園の老朽化、居住者の年齢構成やニーズの変化に対応するため、地域の方の意見を聞き、高齢者向けの健康遊具などにも配慮して進めていく。

審議の結果

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

令和 3 年 6 月定例会

賛成全員…◎ 賛成多数…○ 賛成少数…△

議案等の種類	案件名	審議の結果	採決の状況
専決分	専決処分の承認 (令和 2 年度一般会計補正予算 (第 17 号))	承認	○
	// (市税条例等の一部を改正する条例)	承認	◎
	// (令和 3 年度一般会計補正予算 (第 1 号、第 2 号))	承認	◎
補正予算	令和 3 年度一般会計補正予算 (第 3 号、第 4 号、第 5 号)	可決	◎
条例	非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	個人情報保護条例及び個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○
	市税条例の一部を改正する条例	可決	◎
	印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○
	手数料条例の一部を改正する条例	可決	○
	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
	多文化共生推進プラン策定委員会条例	可決	◎
	移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
契約	工事請負契約の締結 (市庁舎解体工事)	同意	○
人事	教育長の任命 (加藤壽志氏)	同意	◎
	固定資産評価員の選任 (永井昭徳氏)	同意	◎
財産	財産の取得 (水槽付消防ポンプ自動車)	可決	◎
その他	市道路線の認定 (市道鶉 1413 号線ほか 4 路線)	可決	◎
	市道路線の廃止及び認定 (市道鶉 1354 号線、市道稲 245 号線)	可決	◎
	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 (浅野健司氏)	当選	◎
	木曾川右岸地帯水防事務組合議会議員の選挙 (平工泰聡氏)	当選	◎
議員提案	子どもの医療費助成制度に関する意見書	可決	○
請願	新特別支援学校の建設に合わせて、現各務原特別支援学校を軽度の知的障がい者のための高等特別支援学校機能を持つ施設に再生することを求める請願	不採択	△
	18 歳年度末までの医療費助成制度拡充を求める請願	不採択	△
	後期高齢者医療制度窓口負担 2 割化の撤回を求める意見書採択についての請願	不採択	△
	各務原市新総合体育館整備基本構想 (素案) に関するパブリックコメントの採用可否判断基準に関する請願	不採択	△
	各務原市特別支援学校整備に関する市民説明会における退場発言の撤回と陳謝の意を議会にて表明することを求める請願	不採択	△

一般質問

6月定例会で一般質問をした議員（質問順）

指宿真弓／池戸一成／横山富士雄／杉山元則／井戸田直人／坂澤博光／波多野こづめ／古川明美／永治明子／水野岳男／五十川玲子

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に対して質問しました。その一部を紹介します。

コロナ禍の南海トラフ等地震への備え

感染症対策で避難所収容人数を見直し

問 新型コロナウイルス感染症防止の観点で、避難所の一人当たりのスペースの見直しが必要ではないか。

答 本市では、令和2年6月に「避難所運営マニュアル 新型コロナウイルス感染症対策編」を策定しており、世帯ごとの間隔を、平常時の1・3mから2mに広げることとしている。

これにより、現在の指定避難所118カ所の収容可能人数は、合計で約2万人となる。

市内で最も被害が大きいとされる南海トラフ地震発生時の想定避難者数は約1万4千人であるため、現状の指定避難所において収容可能と考えている。

問 災害に備えて、市で保管している防災備蓄品の現状と計画は。

答 南海トラフ地震発生時の想定避難者数約1万4千人を基準に1日分の食料や飲料水、その他消耗品などを備蓄し、2日目以降は流通備蓄や救済物資などを確保する体制ができています。

備蓄状況は、6月1日時点で、感染症対策物資のマスクや消毒液、パーティションなどは目標数に達しているが、アルファ米は目標値の約60%、毛布は約40%と不足している品目もある。そのため、今後5年間で購入し、令和7年度には全品目で目標に達する計画である。

生理用品の配付支援

生理用品の配付を行っているが進捗状況は。

問 さまざまな事情で生理用品の入手が困難である方への支援として、更新時期を迎える防災備蓄品を活用した無料配付を行っており、6月15日時点で280パックのうち、198パックを配付した。



生理用品と相談用リーフレットを配付

問 来年度以降も継続的に無料配付を行う考えは。

答 防災備蓄品の生理用品を、毎年度少しずつ買い足し、市全体として備蓄に必要な量を確保した上で継続的に配付を行っていく。

市長3期目のビジョン

問 3期目のビジョンと市長の思いは。

答 市民が少しでも多くの幸せを実感し「ずっとこのまちで」と思えるような街にしたい。

そのために「ひとを育む・くらしを守る・まちを支える」の3つのビジョンを軸に、総合計画、総合戦略を推し進め、市民の信頼と期待に添えていく。

市民をはじめ、自治会、各種団体、NPO、企業など「オール各務原」でふるさと各務原の輝かしい未来を切り拓いていく。

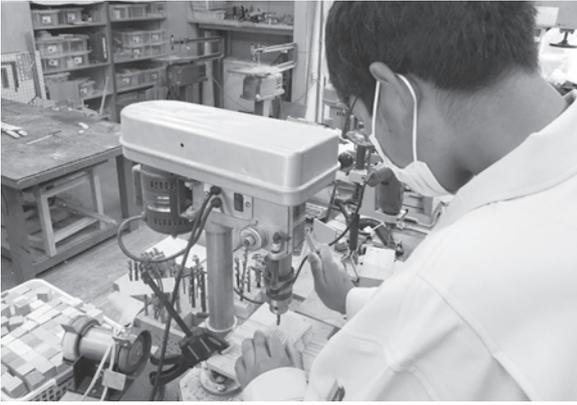
本市ならではの新特別支援学校

地域の人材や資源を活用した作業学習

問 地域の力を活用した本市ならではの作業学習を充実させる考えは。

答 現在の各務原特別支援学校の作業学習をベースにしながら、本市の特徴でもある「ものづくり」を取り入れた作業学習に発展させたい。

地域の人材や資源を活用することで、本物に触れる体験を重ねることができ、生徒の自立や社会参加に大きく寄与できると考えている。



作業学習にて木材を加工（各務原特別支援学校）

問 医療的ケアを必要とする児童・生徒の受け入れ体制は。

答 たんの吸引やチューブでの水分や栄養の摂取、排尿の手助けなど、医療的ケアを必要とする児童生徒の在籍が見込まれるため、その体制整備は必要不可欠である。

開校に向けて、医療的ケアに対応できる看護師などの配置や校内体制の整備を行い、全ての児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるよう検討を進めていく。

問 通学路の安全対策への考えは。

答 工事期間中の工事車両の出入りや生活道路への影響については、万全の対策を講じていく。

開校後の名鉄羽場駅からの通学路については、自力通学をする生徒の将来を見据え、公共交通機関を利用して安全に通学できる力を身に付けられるよう、教職員が指導を行う。

不登校の子どもたちへの支援

問 不登校の子どもたちに対する教育の機会の確保はどうなっているか。

答 学校へ登校できない子どもたちには、学級担任や生徒指導主事、スクール相談員などが家庭訪問などを行い、その子に応じた教育の場や機会の提案、支援に努めている。

また、各学校の相談室などに加え、市の教育支援センターとして「あすなる教室」「さくら」や相談機関として教育センター「すてっぴ」、少年センター「ほっとステーション」などがあり、それぞれの特性を生かし、相互に連携を図りながら適切な支援ができるよう努めている。

グリーンインフラの活用

問 本市のグリーンインフラの取り組み状況は。

答 令和2年度には、那加桐野町地内において、敷地中央部にゆったりとくつろぐことができる大きな芝生広場に、

境川流域の浸水被害を軽減させる調整池機能を持たせた桐野公園を整備した。

令和3年度からは新特別支援学校に、特に雨水の流出を抑えることを念頭に置いた、校庭貯留や駐車場の透水性舗装、雨水を一時的に貯める植栽帯「レインガーデン」などの整備を計画し、ゲリラ豪雨に伴う浸水被害の軽減を図っていく。



雨水を一時的に貯留できる桐野公園

※グリーンインフラとは？

地形の構造や水脈、植物など、自然環境の特性を踏まえた土地利用や整備を進めることで、水害の低減、環境改善などを図る取り組みのこと。

高齢者への生活支援

紙おむつなどの購入助成とごみ出し支援

問 「紙おむつ等購入助成事業」の支給対象者に、一人暮らし高齢者も加えてはどうか。

答 要援護高齢者台帳に登録している一人暮らしの方で、紙おむつなどが必要と思われる要介護3以上の方は、令和元年度末では41人だったが、本年6月1日時点では91人と年々増加している。

問 このような状況から「紙おむつ等購入助成事業」の支給対象者に一人暮らし高齢者を追加するなどの見直しを現在検討している。

答 高齢者のごみ出し支援については、一人暮らし高齢者でのごみ出し支援が必要な方は、地域ボランティアなどによる支援やシルバークリスタルセンターが行う「高齢者いきいき生活サポート事業」など、「コミュニティ

ニティ支援型のごみ出し支援を利用している。

本市の65歳以上の一人暮らし高齢者は年々増加傾向にあり、ごみ出し支援の必要性はさらに高まるものと思われる。

そのため、引き続き、ボランティアの方々に協力をいただきながら、地域におけるコミュニティ支援型の取り組みを進めるとともに「高齢者いきいき生活サポート事業」の拡充について、シルバークリスタルセンターと協議し、市内全域においてごみ出しに困ることがないような体制づくりに努めていく。



地域で支えるごみ出し支援

コロナ禍の健康保持・増進

問 コロナ対策として免疫力を高める暮らしのさまざまな情報を発信する考えは。

答 感染症予防として手洗い、マスクの着用、3密を避けることに加え、免疫力を高めるために、普段から規則正しい生活や栄養バランスの取れた食事、十分な休養、運動、口腔ケアなどが大切と考える。

市ではウェブサイトによる情報発信に限らず、健康教室や相談、健診、保健指導などで健康づくり支援を行っている。今後も健康の保持・増進について、適切な情報提供に努めていく。

問 重症化しないために生活習慣改善の呼び掛けは行うのか。

答 糖尿病や高血圧などの生活習慣病が、コロナ重症化の一因と言われている。

そのため、感染症対策を行った上で、今後も食生活や生活習慣の改善の啓発と、健診事業を着実にを行うことで、市民の健康寿命の延伸を目指していく。

新型コロナウイルス感染症に関する報告会

6月4日に、新型コロナウイルス感染症に関する市の現状を確認するため、議場で報告会を行いました。

報告会では、ワクチン接種への対応について、市からの報告のち、議員からさまざまな質問と要望などを行いました。

市からは、①高齢者の接種状況②高齢者向け接種（個別接種、集団接種）の詳細③接種キャンセル時などの対応④接種に関する補正予算の報告などがありました。



市民の声

こんな街が いいな！



「助けて」が 自然体で言える街

伊藤 浩さん（鵜沼各務原町）

わが地域では平成 28 年度より、ちょっとした困りごとを地域で助け合う「住民お互いさま活動」に取り組んでいます。

私は「助ける人」と「助けられる人」を繋ぐコーディネーターの傍ら、現場にも出向き活動に参加しています。

令和 2 年度は活動実績 61 件・延べ 129 人が参加し、現在「助ける人」の登録者数は 50 人です。

「助けます」と言える人が多いのに対し、「助けて」と言える人は、まだまだ少ないように思います。

「助けて」が自然体で言えるようになれば、孤独死なども、もっと減らせると思います。



高齢者が 外出しやすい街

稲積 幸佐久さん（蘇原柿沢町）

私は昭和 35 年からこの街でお世話になっています。あの頃、今の市役所のところに古びた木造の蚕業試験場があったのを記憶しています。

今や市の人口は 14 万人を超え、新たな市庁舎も完成間近です。

市の発展とともに私の歩みもあったと思うと感慨深いものがあります。

昨年、「チョイソコかかみがはら」がスタートして、買い物や受診が便利になり、嬉しいニュースです。

引き続き、高齢者のニーズに合った移動手段の確保への取り組みをよろしく申し上げます。



ゆったりとした 雰囲気の街

安田 新作さん（鵜沼西町）

昔から「遠くの親戚より近くの他人」と言われますが、科学技術の進歩により近年この故事が薄れているように感じ、少々不便でももう少しゆったりと生活できないかと思えます。

農耕民族の日本人は自然と共生し、他の人と助け合うとともに、お互いに気配りをしながら生活してきました。

地域の祭りや盆踊りを皆で楽しみ、また地域の奉仕活動にも皆で協力するような、ゆったりとした雰囲気の街が、本来の「安全、安心な社会」であるように思えます。

Q & A 教えて！市議会とは？

Q. 定例会と臨時会って？

A. 市議会には、毎年 4 回（3 月、6 月、9 月、12 月）開かれる定例会と、緊急で会議をする必要がある場合に開かれる臨時会があり、その中で本会議や常任委員会が開かれます。

Q. 本会議って？

A. 議員全員が議場に集まり、市長から提案された議案などに対し、賛成するかどうかを多数決で決める重要な会議です。また、議員が市政全般について、市長などの考えを問う一般質問も行われます。

9 月定例会の予定

8 月 23 日(月)	本会議（開会）
9 月 2 日(木)～ 3 日(金)	本会議（質疑、一般質問）
9 月 7 日(火)～10 日(金)	常任委員会
9 月 14 日(火)	本会議（閉会）

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、会議の傍聴を制限する場合がございます。傍聴を希望される方は、事前に議会事務局にお問い合わせいただくか、市議会ウェブサイトをご確認ください。

市議会だより編集委員会

委員長 | 指宿真弓 | 副委員長 | 塚原甫
委員 | 古川明美 水野岳男 井戸田直人 池戸一成

市議会の詳しい情報は各務原市公式ウェブサイトからご覧ください。

各務原市議会

検索



かかみがはら
市議会だより

発行 | 各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69

電話 | 058-383-2001 | 編集 | 市議会だより編集委員会

